

思考力の扉

思考力検定情報

発行年月 二〇一九年二月
発行人 IML国際算数・数学能力検定協会

小学5年生で合格!! 準2級(高1レベル)

昨年秋に実施された「算数・数学思考力検定」の準2級(高校1年レベル)を小学5年生で合格したチャイルド・アイズ センター南校の藤山泰地さんへインタビューを行いました。

チャイルドアイズセンター南校：知育コース、思考力アドバンスコース(中学受験準備)、読み書き読解に特化した国語コース、幼稚園・小学校受験コース等、1歳～小学6年まで百名以上が通う。
知能教育学と幼児心理学をもとに、豊かな創造性や柔軟な思考を育てることを目的としている。



・今一番、興味のあることは？
「お城を見ること。日本百名城は98城行った。見学しているときは、城主の気持ちになって、『何故ここに築こうと思ったのか』『どのようにして城を築いたのか』を考えている」

・準2級の問題は？
「ひねって考えないと解けない問題があり、難しかったが面白かった」

・思考力検定を受検した感想は？
「難しい問題を解くときはドキドキする。時間いっぱい粘って解いている。
小学校のテストは習ったことがそのまま出てくるが思考力検定はどんな問題が出てくるのか分からないがそれもいつもドキドキしている」

受検者より



準2級合格 藤山泰地さん

・思考力を伸ばす秘訣とは？
「子どもが『どうしたいか』を問い、興味を持つことに対して本を買い与えたり、現地に連れていったりして、親が出来ることはなるべく実現化してやり、興味の芽を摘まないようにしている」

・家庭での学習はどのように？
「家での学習は親が干渉するのではなく、子どもが自らやっているが、わからない問題にあたっては一緒に考えてあげている。時には『どっちが早く解けるか』と競争しながらやっている」

・思考力の学習でお子さんにどんな影響がありましたか？
また教育において心がけていることは？
「普段学校では出会わないような問題をじっくり考えて解いたりする思考力学習は子どもにとっても合っていたと思う。
心がけていることは幼い頃から気になることがあると立ち止まって観察したり、考えたりすることがあったが焦らせずに見守っていた」

保護者より



2019年 検定実施日
第3回 2019年2月22日 or 23日
第1回 2019年6月28日 or 29日
第2回 2019年11月8日 or 9日

IML国際算数・数学能力検定協会
〒162-0841東京都新宿区払方町14-1
TEL03-5225-6018 FAX03-5225-6019